

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年 11月 21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 渡辺組
所在地	鹿児島県鹿児島市武2丁目4番1号
代表者役職・氏名	代表取締役 渡辺 丈
担当者連絡先	電話：099-286-0800 (担当：営業部 寺脇)
	メール：h-terawaki@k-watanabegumi.co.jp
ウェブサイトURL	https://k-watanabegumi.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和26年に創業した総合建設業者であり、起重機船を所有し鹿児島県の港湾を中心とした海上土木工事の請負事業を実施している。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	年次有給休暇取得促進及び時間外労働時間削減によるワークライフバランスの充実。	年平均有給休暇取得日数 【現状】：有給休暇 8日 【目標】：有給休暇 15日
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	港湾工事における、環境配慮型船舶の活用促進。	環境配慮型起重機船の導入 【現状】：1隻 【目標】：2隻以上
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	エアコン使用基準の設定及び節電による電気使用量の削減。	電気使用量の削減 【現状】：(本社) 66,185kw (本店) 53,814kw 【目標】：(本社) 60,000kw (本店) 48,000kw

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	差別やハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記しており、安全部顧問を相談窓口としている。また、研修においてもハラスメント防止のテーマも取り入れて実施している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	くろみん認定を取得し、仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	過度な労働を防止するため、労働時間の管理・勤務状況の整備を行っている。また毎週水曜日をノー残業DAYとして取り組んでいる。									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	社内にて労務環境面のパトロールチームを作り「安全な環境づくり」に向けた取り組みを実施している。			3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	メンタルヘルスに関する研修会を実施するとともにメンタルヘルスに関するアンケートを実施し、その後のサポートも実施している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	定年延長によるシニアの活躍推進や外国人・障害者雇用による多様な人材確保に取り組んでいる。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	社員の人間力や技術力向上を高めるため、多様な社内研修(社員全体研修、部門別・階層別研修会や勉強会)を定期的に行うとともに、資格取得支援にも取り組んでいる。				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5				8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康優良法人認定企業として、社員の健康管理のため、人間ドックや予防接種の補助など各種助成制度の拡充や健康目標制度に基づく健康づくり活動を推進している。			3						8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	建設廃棄物、事業所廃棄物の発生抑制・削減、ペーパーレス化や再生紙利用、メール、ライン活用等によりゴミ排出量の削減に取り組んでいる。											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	事業所別に電気使用量の月別チェックを行うとともに、エアコン設定温度・こまめな消灯・節電の管理を実施している。								7.3						13			
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている									7.2 7.3				12.4	13.3				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9				6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	みんなの港サポーターを通じた自主的な清掃活動やボランティア活動へ積極的に参加し周辺環境へ配慮している。							6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる								6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を取得し、環境管理事業所認定に基づく環境管理に取り組んでいる。			3.9				6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	太陽光発電による再生可能なエネルギー事業の推進に取り組んでいる。(シンコーエネルギー(株))								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15				
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ドローン、BIM・ICT技術を積極的に導入し、活用している。			3.9									12.4						
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001を認証取得・継続する取り組みを実施している。また、社内にて品質証明員を定め品質確保及び向上に向け取り組んでいる。																9		
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	環境配慮型起重機船を1隻造船し、更にもう1隻造船し、全船環境配慮型起重機船にするよう取り組んでいる。								6					12	13	14	15		
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	スタートアップ企業と連携した、在宅向け生活支援システムの提供による「住みたい場所で住み続けられるサポートづくり」新たな介護支援システムの導入に向け取り組んでいる。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	建設業の魅力やモノづくりへの興味・関心をもってもらうためのインターンシップ学生の受入れや、近隣住民、子どもを対象とした現場見学会等を実施している。						4					9	11	12		14	15		17
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	母子・父子家庭などの社会的弱者や避難民へ寄付を行うなど、行政等を通じた支援を実施している。子どもの食を支えるため、子ども食堂への食材支援。					4							11			14	15		17
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	鹿児島県産の原材料を優先的に利用し、地産地消を推進している。										8	9		11	12	13			

